

保育園自己評価表

2020年度

園名 まあむベイビズ 相模大野

保育目標の達成	職員間の連携	地域とのコミュニケーション
<p>・愛情豊かな保育者との触れ合い、衛生的保健的で安全な環境の中で、快適に生活できるようにする</p> <p>・ひとりひとりの欲求を満たし、情緒の安定を図りながら、個性を育み、信頼関係、愛着関係を築く</p> <p>・個々の発達、発育状態に応じて、離乳の完了や歩行の開始、言語発達への意欲を育む</p> <p>達成度 B 退園、途中入園等があり、またコロナ禍での登園自粛なども影響し難しい1年となった。マスクをつけての保育を強いられ、表情がなかなか見せる事が出来なかったが言葉かけやスキンシップをこれまで以上に丁寧に言い、安心して過ごせるよう配慮した。</p> <p>・新しい環境に慣れ、生活や遊びに興味を持ち、基本的な生活習慣の基礎を身につける</p> <p>・探索活動を通して、聞く、見る、触れるなどの様々な経験をする中で、人や環境への興味関心を高める</p> <p>・安心できる保育者や友だちとの生活の中で、自分の感じた事を言葉で表現し伝えながら言葉を獲得していく</p> <p>・生活や遊びの経験を通じて、イメージや表現など豊かな感性を育む</p> <p>達成度 A 仲間意識が強く、友達の大い存在が大きなクラスとなった。自然に興味を持ち、周りの環境への関心も強く絵本などでの言葉の獲得がよく見られた。登園自粛などもあったが健康的に元気な1年になった。</p> <p>・保育者との信頼関係をもとに自分でやり遂げる自信を持ち、喜びを感じる</p> <p>・全身を使った遊びを通して、運動機能高める</p> <p>・友達との関わりの中で自分の気持ちを言葉で表現し語彙を増やす</p> <p>達成度 A 身支度や身の回りのことを「自分でやる」意識が育ち、自信をもって取り組む姿が見られた。また、活発で少し離れた公園へ出掛け、全身を使って遊ぶことも多く健康的に過ごすことが出来ていた。</p> <p>言葉で伝える事もしっかり出来るようになり、発語も多かった。個々の差はあるが、表現しようとする姿が印象的だった。</p>	<p>・0.1歳児は0歳の園児が少なく、転園や途中入園などもあったため1歳児と合同保育の形を取った。個々の発達の状態や性格など、職員間で共有し一人一人にあったリズムの中、保育出来るように配慮した。</p> <p>・朝番～遅番職員への伝達を徹底し、日中から夕方の様子などを全職員が把握できるようにした。遅番は連絡ノートなども用いて引き継ぎが出来るようにした。</p> <p>・職員会議や職員への連絡などLINEなどを利用し密にならないよう配慮した。</p> <p>・各年齢の担当と施設長など少人数で打合せをした後は情報を共有し、園内全体で対応出来るように心がけた。</p> <p>総合</p> <p>・各年齢の担当者同士での話し合いを多く持つことが出来た。1歳児2歳児の連携もあり、一緒に過ごす時間なども個々の体力や状況を共有しながら、無理なく過ごせるよう配慮する事が出来た。</p> <p>・コロナ禍で消毒や感染拡大防止の意識が高められた</p>	<p>ロビーファイブ</p> <p>・予定されていたイベントはコロナの影響でなかなか実現する事が難しい1年となった。感染予防対策をギリギリまで考慮して企画してもらったが、直前で中止になる事が多かった。</p> <p>・クリスマスではサンタさんから手紙とプレゼントが届いた。感染防止の為、直接は会えない形だったが園児たちは喜んでた。</p> <p>・防災センターや管理事務所の方が周辺の修繕や警備、不審者への対応など迅速に対応して下さった。</p> <p>図書館</p> <p>・コロナの影響で利用できず</p> <p>近隣保育園との交流</p> <p>・きらりととのイベントや連携園との交流も今年度はなかなか行うことが出来ず十分な活動は出来なかった。</p>

この評価のつけ方:

各担当と施設長で話し合い、意見をまとめた。全体の達成度や評価に関しては施設長が総合的に判断した。
 A よくできている B 出来ている C 未達成